

### センバツ前最後の対外試合

# 光星 仕上がり順調



第88回選抜高校野球大会に出場する八学光星は18日、奈良県生駒市で近大付(大阪)との練習試合2試合を行った。大会前の最後の対外試合。主力で臨んだ1戦目は打線が計18安打を放って16-1で圧勝、順調な仕上がりぶりをうかがわれた。19日以降は単独での練習で調整し、初戦に備える。

(二百康成)

近大付は昨秋の近畿地区大会大阪府予選3回戦で敗れている。光星は1戦目、三回に2点を先制すると、四回は打者13人の猛攻で7安打を集め、一挙9得点。六回も4安打5得点を持ち前の集中打を發揮した。3試合ぶりに4番に座った益田敦成は3安打2打点、勝負強さが光った。

投げては先発和田悠弥が4回1失点。後を受けた小西正亮が3回、主戦櫻井一樹が2回をそれぞれ、無失点で締めた。

2戦目は控え中心のオーダー。4-6で敗れたが、吉村健汰と辻優大が本塁打を放ち、存在感を見せた。櫻井は17日の智弁和歌山との練習試合は9回8失点だったが、18日は零封。「内容は良くなかったが、

## 持ち前の集中打発揮

捕手の奥村(幸七)は「いい球が来ている」と言っている。甲子園では一人で野球をせず、自信を持って投げたい」と強調。

関西入り後の練習試合9戦を終え、仲井宗基監督は「実戦を多めに積み、いい時間を過ごせた」と総括。「打線はつながりを見ることが大丈夫かな。投手は試合を壊したら元も子もない。しっかりケアし、万全の状態に臨ませたい」と3日後の1回戦を見据えた。

一方、青森山田は東大阪大柏原(大阪)との練習試合2試合に臨み、1戦目は5-10で勝利。2戦目は5-6で敗れた。

大会前最後の練習試合で登板した八学光星の主戦櫻井一樹は、2回1安打無失点で締めた。18日、生駒市の近大野球場



3試合ぶりに4番に座り、力強いスイングで3安打を放った八学光星の益田敦成

### 4番居心地いい

○光星の益田が3試合ぶりに4番に復帰、3安打をマークした。関西入り後はなかなか調子が上がらず、16日は7番、17日は6番に打順を下げて練習試合に臨んでいた。益田は「気楽に打席に立てるよう監督が配慮してくれたと明かした。思い起こされるのは4試合を通して無安打に終わった昨秋の東北大会。『打てずに当てにいてしま、さらに駄目になる悪循環だね』と本音が漏れた。

ることができました。16日は低めを本塁打にできて、これは今までで一番の打球でした。めっちゃくちゃ調子がいいです。こちらに来たばかりのところは美戦に慣れていませんでしたが、試合をするにつれ、秋のころの動きが戻りました。自分の売りは打撃の積極性。今なら最高の状態で甲子園に臨める自信があります。試合に出たら本塁打を打ちたい欲を抑えて、チームの勝ちにつながるプレーを心掛けます。



18日の練習試合早本塁打を打ちました。追い込まれた状況で内角直球が来そうなき感があり、狙い通りに球を握え



## めちゃくちゃ調子いい

光星 15 吉村健汰 (3年) 二塁手、三塁手、一塁手、大阪・城東中出

こちらに来たばかりのところは美戦に慣れていませんでしたが、試合をするにつれ、秋のころの動きが戻りました。自分の売りは打撃の積極性。今なら最高の状態で甲子園に臨める自信があります。試合に出たら本塁打を打ちたい欲を抑えて、チームの勝ちにつながるプレーを心掛けます。